

## 南牧野林自治会

### 公民館を拠点とした4大事業

南牧野林自治会は令和元年度に元村中央自治会から分離独立した市内31番目の自治会。独立前の33年間、地縁団体の「南牧野林公民館」として独自の活動を行っており、新たな自治会ではこの時の活動を引き継ぎ、南牧野林公民館拠点の4大事業として取り組んでいる。



(上) 夕涼み会  
(下) 日帰りバス旅行

1つ目は夕涼み会。住民全体が最も身近に交流できる恒例行事として、毎回、子どもからお年寄りまで楽しめる企画を考えている。

2つ目は日帰りバス旅行。ただ旅行するのではなく、世代間交流と岩手の伝統や文化、土地に関する知識を深めることを目的としている。

3つ目は文化祭。当初は絵画や工芸品の展示を主に行っていたが、マンネリによる参加率低下を懸念し、体を動かす行事を加えたいと考え、自治会となってから、芋の子会を同時開催している。

4つ目は敬老会。80歳以上を対象に、長寿を祝

い、これまでの地域貢献への感謝とこれからも人生の後輩たちのために活躍してほしいとの想いを込める。この地域で生きてよかったと思えるにはどうすればよいか、高齢化社会の中でどう高齢者が生きていくべきかを考える場にもなっている。このほかにも高齢者の健康維持のためサロンやサークルでは体操や料理教室、脳トレやパソコン教室、介護予防教室等が活発に行われている。

### 会報でも交流を

会報は毎月1回、読みごたえある紙面には自治会の情報が満載。紙面には総務部・環境部・防災部・文教部・福祉部の各活動の案内や報告のほか、南牧野林文芸と称した俳句や短歌を掲載する面があり、自治会員から俳句・川柳・短歌や文芸作品等の投稿を募っている。最初は恥ずかしがっていた方も、他の作品を見るうちに投稿が増え、今では1ページに沢山の力作が並ぶようになった。コロナ禍で行事の中止があっても、会報の紙面では活発な交流が続けられている。

### 安全に活動を

自治会活動を行う上で、参加者の安全を守ることが第一と考えており、自治会主催のすべての活動に保険をかけている。見守り活動では、地域の大人が毎日スクールガードをし、時にはやまゆり学級の子どもたちに昔遊びを教え一緒に遊ぶ。親だけでなく、地域全体で子どもを育てる体制が構築されつつある。

### これからの自治会

住民みんなが責任を持ち、「みんなの自治会」「みんなの行事」という意識のもと自治会活動を持続させていきたい。そのためには、行事を通して「みんなで作ってあげる」経験をつくりたいと考えている。南牧野林自治会には文芸の得意な人、感染症対策の知識がある人等、様々な才能を持った人があふれている。そのような地域のみんなの人となりを知り、知恵を活かせる行事を通して人間力のあふれるような自治会にしていきたい。